

平成20年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	「若年層キャリア育成プラン:職業体験&職場見学講座」		
法人名	学校法人 電子学園		
学校名	日本電子専門学校		
代表者	理事長 多 忠和	担当者 連絡先	新井 宏和

1. 事業の概要

1) 首都圏高等学校対象

- ① 県の専各協会が実施する大規模な連携ではなく、個々の専修学校が互いの教育の良さを確認し連携している点。
- ② 体験学習のみではなく、各々の専修学校が求人企業と連携し、実際の職場を見学させることで、実習と見学の二つの行動を通して職業を理解することが出来る点。
- ③ 各校が通常行う「体験学習」や「オープンキャンパス」だけでなく、事前に「職業適性・キャリアガイダンス」を受講後に参加するため、参加者の意識を高める工夫が考慮されている点

2) 新宿区立中学生対象

職業意識を養うためには、義務教育終了前に高校進学や就職を視野に入れた上で実施した方がよりミスマッチを防げるため、早期に行うことが望ましい点

2. 事業の評価に関する項目

① 目的・重点事項の達成状況

当初計画では、9つ専修校が協力し、5つ高等学校の1, 2年次生500名を対象とする職業意識の早期醸成を図ることとした。実際には18の専修学校が協力し、生徒の希望する木目細かい講座&職場見学が実現できた。参加高校数は計画通り5校に対して実施し、参加生徒数は予定の153%の765名の参加を得ることが出来た。またアンケートにあるように、キャリアガイダンス講座を含めて、職業体験講座&職場見学も受講者にとって有意義な成果を得た。

新宿区立中学との連携においては、9校の専修学校が協力し、区立中学3700名を対象に告知を行なった。実際には7校の専修学校と連携し、30名延べ52名の生徒が参加した。

② 事業により得られた成果

1)-1キャリアガイダンス講座

本講座は次の4つのアクション、講演(キャリアのはなし)、グループワークⅠ(職業の魅力を見つけよう)、グループワークⅡ(職種情報を分けあおう)、職業適性検査で構成した。

1)-2職業体験講座&職場見学

ゲーム機の製作、調理実習体験、グラフィックデザイナー・イラストレーター体験、幼稚園教諭・保育士体験、トリマー・動物看護体験、美容師の技術体験、福祉の仕事&手話体験、レコーディング体験、声優体験、自動車整備体験、ファッション業界入門など18校の専修学校で延べ76コース765名の高校生に対して職業体験講座が実施された。また衛生上の理由で実施しない調理実習以外のすべての講座で職場体験が実施された。

2) 中学連携は、当初の計画では、260名を想定したが、実際には52名(実質32名)の参加で大きく予測を下回った。

高等学校は学校単位で実施にあたったため、まとまった人数の参加が見込めたものの中学は「個人参加」の形式としたため、予測した参加者数に至らなかった。

しかしながら、地元の専修学校に自分の好きな分野を選んで参加した32名の生徒の満足度は非常に高いものであった。

③今後の活用

今回、本事業に参加した5つの高等学校では、1年次から3年次を通して職業啓発授業を実施しており、1年次生を対象とした学校では2年次以降も生徒にこの様な職業体験のチャンスを取り入れ、2年次生を対象とした学校では3年次の進路指導に役立てたい、意向である。専修学校でも各校実施の体験講座に自主参加を促し、高校生の進路選択に寄与する意向である。

2年連続して実施した、埼玉県立新座高校は次年度以降の実施を検討、埼玉私立小松原高校で既に次年度の年間スケジュール

の中に本事業の継続を計画している。また、今回が初めての実施となった都立荒川商業は次年度以降、学年全体での実施を検討、千葉県立船橋豊富高校・船橋法典高校も次年度も委託を受けた場合は実施の方向を検討したいとの言葉を頂いた。

④次年度以降における課題・展開

連携した専修学校は各校での正規な授業を稼働させながら、専修学校・高等学校連携に大変なご尽力とご協力を頂いている。しかし、例年のことではあるが、高等学校の年間行事が既に決まった後に、専修学校と連携して、計画・実施する事業であるため、実施プランの構築に多大な労力が必要となる。年間計画策定前の計画構築が望まれる。

また、高等学校側からも次年度の計画を立てるに当たり、早めの回答を求められてる。さらには、神奈川県某県立高校では6月に実施を希望された学校もあったが、実施期間外であるためお断りをした次第である。

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

1)-1キャリアガイダンス

・東京都立荒川商業高等学校(12/18):日本電子専門学校において、キャリアガイダンス講演&演習、2年生合計24名が受講した。

・埼玉県立新座高等学校(11/13:講演・1/15:演習):高校へ出向いてのキャリアガイダンス演習、2年生合計108名が受講した。

・埼玉私立小松原高等学校(1/8):高校へ出向いてのキャリアガイダンス講演&演習、1年生合計355名が受講した。

・千葉県立船橋法典高等学校(1/9) 高校へ出向いてキャリアガイダンス講演&演習、2年生のみ117名が受講した。

埼玉県立新座高校のみ、授業の関係でキャリアガイダンス講演と演習を2回(日)に分けて実施した。

荒川商業高校以外は、当該校にキャリアカウンセラーを派遣して実施したため後日、実施する職業体験&職場見学との人数差が生じた。

キャリアガイダンス講座は合計792名が受講した。

*受講者の88.2%が今後の進路(職業)選択に役立ったと回答した。

1)-2職業体験&職場見学

・東京都立荒川商業高等学校(12/19):専修学校7校、9コースで合計24名が受講した。

・千葉県立船橋法典高等学校(1/27):専修学校8校、11コースで合計108名が受講した。

・埼玉県立新座高校(1/29):専修学校10校、10コースで合計104名が受講した。

・千葉県立船橋豊富高等学校(2/19):専修学校10校、16コースで合計180名が受講した。

・埼玉県私立小松原高等学校(2/20):専修学校13校、30コースで合計349名が受講した。

上記実施高等学校が5校で専修学校18校・76コースで合計765名が受講した。

*受講者からは、職業体験講座が進路を考えるのに役立った(85.8%)、職場見学が役に立った(82.3%)との意見を得た。

*受講者からの多数意見を以下に示す。

専門学校の人からのお話を詳しく聞いて、見れて、体験できて本当に満足できました

今回は色んな所に行ってすごく楽しく過ごせた。プロの方に会えてすごく嬉しかった。

この行事に参加して職業に就くのはとても難しく感じた

これからは活かしていきたいと思います。良い経験ができて良かったです。すごく貴重な体験を得ました

とても時間が経つのが早く、進路を考えるのにとっても参考にすることができました。とても良かったです。

今回はありがとうございました。

②その他

・キャリアガイダンス講座ではCSM講座の講師、荒木昭信氏の教材工夫が見事、受講者の高校生の気持ちを盛り上げ、高校生が描く職種に関するイメージを様々な角度で意見交換が出来、職業や自分を見つめ直す機会になった。

・年初計画では9つの専修学校が実習設備、教員等、自校のリソースを持ち寄って、高校生の職業意識の醸成に役立てようと計画したが、高等学校サイドでの再三に渡る受講講座希望アンケート調査の結果、受講生の希望に即して、18の専修学校、全76コースを開講することとなった。結果、受講生の全ての要望を満たすことは出来ないもの、希望コースの増加により、多種の職業体験講座の受講が可能になり、満足度の高い事業を行うことが出来た。